

研究所ニュースレター

発行：聖徳大学 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550 TEL. 047-365-1111 編集：聖徳大学知財戦略課

ご存知ですか？
聖徳大学には4つの研究所があります！

topics

研究所の活動をご紹介します！

今年で設立19年！
幅広い研究分野を有しています

言語文化研究所

いつでも誰でも学ぶことができる
環境づくりをお手伝いします



▲言語文化研究所講演会



▲生涯学習研究所

「松戸まつり」

生涯学習研究所

児童教育に関わる
最新の情報をお届けいたします

児童学研究所

こころの相談承ります
気軽にお立ち寄りください

心理教育相談所



▲心理教育相談所館内



▲児童学研究所講演会

■ホームページのご案内

□言語文化研究所より連続講演会のお知らせ

言語文化研究所

言語文化研究所は聖徳大学開学の翌年（平成3年）に設立され、今年で19年目を迎えた本学最初の研究所です。

「言語」という言葉だけの研究領域に留まらず、「言語」にともなう人間の生活全般に関わる事柄を対象に研究活動をしています。

こんな活動をしています！

言語文化研究所の力を入れている研究活動の一つが、地域の皆様方から注目を浴びている公開学術連続講演会です！これまで、連続講演会では「源氏物語千年紀」「松本清張生誕100年」など、その年にふさわしいテーマを取り上げてまいりました。

また、公開研究発表会を開催しております。昨年度は「ハーディ文学の現代性とは」「徳川家康と高木広正」などをテーマに発表、本学教員の研究成果を社会に還元しています。

news flash

今年度は6月から「平城遷都1300年」に因み、「古代氏族の栄光と挫折」をテーマに学内外の専門家が講師となり、全6回の連続講演会を聖徳大学10号館で開催いたしました。この連続講演会には、毎回ご参加いただいている研究所ファンの方も多く、延べ1,037名の方にご参加いただきました。11月から予定している連続講演会もどうぞご期待ください！

今年で3年目を迎える文化庁委託事業では、外国人の子どもたちのための日本語教育に携わっている方を対象に、「外国人が地域社会に適応し、参加できるための日本語教育とは具体的にどうあるべきか」を目標に指導者を養成する講座を開催いたします。

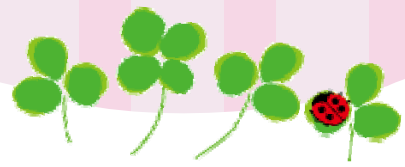
今年度の下半期では、上半期に取り上げたテーマの第2弾として、11月～12月に「平城京時代の遠の朝廷と東国」をテーマに4回の連続講演会を開催いたします。

遠の朝廷と称されていた地方国庁のあり様を、考古学、歴史学、文学の立場から取り上げて分かりやすく解説します。

聖徳大学10号館の最上階で開催される講演会では、会場の窓から建設中のスカイツリーをご覧いただくことができます。講演会にいらした際は、窓から眺めてみてくださいね。



生涯学習研究所



学びたい方がいつでも学ぶことができる「生涯学習社会」の実現を目指し、大学と地域の橋渡しを担う研究機関として、平成10年に生涯学習研究所が開設されました。大学だけでなく、地域とともに成長し、学びの環境を提供できる研究所を目指しています。



こんな活動をしています！

毎年6月、聖徳大学10号館全館を会場におこなわれる「聖徳大学楽習フェスタ」(聖徳大学生涯学習フォーラム)では、本学生涯教育文化学科の学生、一般市民や生涯学習を推進する自治体のボランティア団体などが参加して講演や展示をおこなっています。講演では各分野で活躍している方を講師としてお招きするなど、多くの方にご参加いただき、お楽しみいただいております。

news flash

今年度は6月19日・20日の2日間に渡り、「聖徳大学楽習フェスタ2010」(第12回聖徳大学生涯学習フォーラム)を開催しました。「市民の楽習まつり」をテーマに、地元松戸商店街の逸品を集めた「地域自慢博覧会」を中心に、企業と学生がコラボレーションした企画など、さまざまなイベントを10号館全館で開催し、延べ1,048名の方にご来場いただきました。松戸駅西口のデッキ上では、本学吹奏楽研究同好会による演奏会と、生涯学習研究同好会によるよさこいが披露されました。

7月4日には、学生企画「集まれ！遊びの天才」を開催いたしました。松戸中央公園全体を利用して、子どもたちを対象に手作りの遊び場の空間をつくり、地域との交流を図りました。

「松戸まつり」(10月3日)では、聖徳大学のクラブ・同好会が伊勢丹通り商店街でパフォーマンスを披露します。本学の学生たちの日頃の活動の成果をこの機会にぜひご覧ください！また、聖徳大学10号館2階では、子ども向けのイベントを開催する予定となっております。

- <伊勢丹通り フレンドパーク>10月3日
13:00~17:00 聖徳大学学生によるパフォーマンス
(ハワイアン同好会、ミュージカル同好会など)
- <10号館2階 つくってあそぼう>10月2、3日
11:00~17:00 さかな釣りゲームや工作コーナー、おもちゃの交換など



児童学研究所



児童学研究所はその名のとおり児童、子どもに関する事柄を総合的に研究し、「子どもを知る」をテーマに掲げて活動をおこなっています。社会環境が目まぐるしく変化する中、固定概念にとらわれず、海外の児童教育も視野に入れつつ、児童文化や心理臨床、保育など幅広い研究領域を有しています。

こんな活動をしています！

多方面から見る子どもに関した身近なできごとについて、講演会・シンポジウムを開催しております。具体的には、年に3回の講演会と、毎年2月に「子どもの発達シンポジウム」を開催しております。このシンポジウムは「乳児期」「幼児期」「学童期」「思春期」を1サイクルとして、それぞれのテーマについて4年連続で研究成果を発表しております。4年目の昨年度は、「思春期」を取り上げ、「ヒトの性はどのように分化・発達し、思春期を迎え、そして性別の自己認識（ジェンダー）」はどのようにして確立するのか」という総合テーマのもと、3名の講師から最新の研究成果の報告がなされました。

news flash

今年度は、6月に第1回講演会がおこなわれました。「ミルズ・カレッジ附属学校の3歳未満児保育」をテーマに、本学の海外協定校でもあるカリフォルニア州・ミルズ・カレッジより外国人講師を招き、大学関係者など152名の方が参加し、海外の教育現場の実態を学びました。

また、広報誌として『児童研だより』を年3回発行し、近隣の教育機関に向けて情報を発信しています。今年度より『児童研だより』をリニューアルし、児童に関わる身近なコンテンツを設け、より親しみやすい内容に生まれ変わりました！「児童研だより」は本研究所ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



今年度下半期の活動といたしましては、2回の講演会と「子どもの発達シンポジウム」（平成23年2月）を予定しております。詳細が決定次第、ホームページにアップいたしますので、今しばらくお待ちください。



心理教育相談所



こんな活動をしています!

心理教育相談所では、心理、教育、精神保健面などについて、お子様から高齢者までの相談に応じて、カウンセリング・心理検査・プレイセラピーなどによる援助・支援をおこなっています。また、本学大学院臨床心理学研究科の大学院生の研修機関も兼ねており、臨床心理士を目指す人材を育成する教育機関としての役割も担っています。

news flash

今年度は新たな試みとして、心理教育相談所が主催する初めての講演会を開催いたしました。

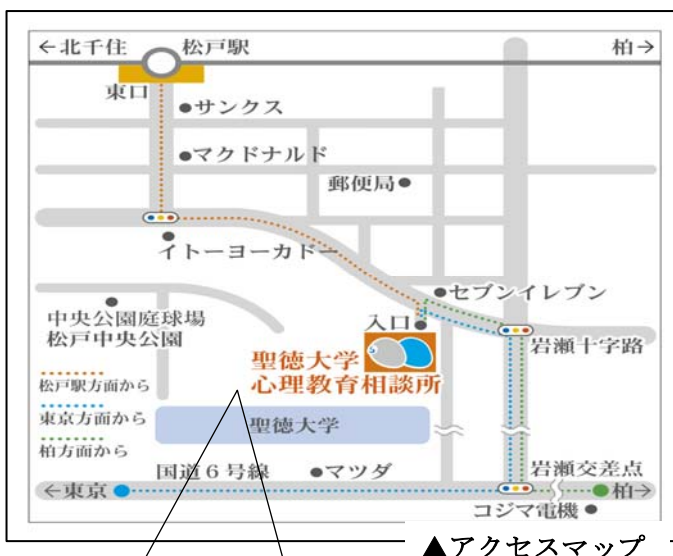
ストレスという言葉を目にするようになってきている現代において、どうしたらストレスから解放されるのでしょうか?でも、実はこうしたストレスや悩みは決して悪いものではないのです。誰もが感じる悩みの活かし方について、慶應義塾大学保健管理センター教授の大野裕先生を講師としてお招きし、「悩みを活かす生き方～『悩む』ことからの育ち～」をテーマに講演していただきました。講演会は229名という多くの方にご参加いただきました。

今後も相談業務に加えて、講演会やシンポジウムを開催し、地域に根付いた相談所を目指します!

お気軽にお問い合わせください

心理教育相談所では皆様のさまざまなお悩みに応えるべく、専門知識を兼ね備えた相談員（臨床心理士）が約20名おります。

一人ひとりのお悩みを丁寧にサポートいたします。施設は全館バリアフリーになっており、落ち着いた雰囲気の中でリラックスしながらご相談いただけます。



▲アクセスマップ



ホームページのご案内



■ 言語文化研究所

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyuiyo/gengo/>

□ 生涯学習研究所

<http://tunagari.jp/>

■ 児童学研究所

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyuiyo/jidou/>

□ 心理教育相談所

http://www.seitoku.jp/daigaku/kenkyuujo/sinrikyouiku_soudanjo/index.html

研究所最新の情報が満載です！

あなたのお気に入りの研究所を見つけてください！



言語文化研究所より 連続講演会のお知らせ

言語文化研究所公開学術講演会

各分野の研究の第一人者が聖徳大学10号館に集結！

平城遷都1300年記念 平城京時代の遠の朝廷と東国

11月17日(水)	大宰府官僚列伝	聖徳大学言語文化研究所長	山口 博
11月22日(月)	考古学から見た国府・郡家と駅路—東国を中心として—	聖徳大学教授	松尾 昌彦
12月 1日(水)	多賀城の機能と歴史的意義	東京大学教授	佐藤 信
12月11日(土)	考古学から見た越中・能登の古代史	富山大学教授	黒崎 直

場 所：聖徳大学10号館14階（松戸駅東口より徒歩1分）

時 間：各回13:30~15:00

定 員：150名 入場無料

事前申込は不要となっております。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

▼アクセスマップ

